

甲佐町議会だより



清流

第157号

平成28年6月1日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 緒方 哲哉

3月定例会



人事案件・条例案件・平成28年度各会計予算

.....②～⑤

そこが知りたいQ & A.....⑥

一般質問（5人）ここが聞きたい.....⑦～⑪

子ども議会.....⑫～⑯

今日から一年生

● 町民の皆様へ ●

このたびの「平成28年熊本地震」により被災されました町民の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

今回の地震は、いまだかつて経験したことのない巨大地震で家屋の全壊や大規模半壊を始め多くの皆様が被災され、厳しい生活を余儀なくされておられます。町民の絆を強め、生活再建に向けた政策を強力に推進することが最重要と考えております。

これから梅雨の時期に向かうなかで、町民の皆様には大変厳しい時期となりますが、一日も早い生活の再建や地域の復旧、復興に議会と町執行部ともに全力を尽くしてまいりますので何卒ご協力をお願い申し上げます。

最後にご支援いただいている各種団体など多くの皆様に改めて感謝を申し上げます。

甲佐町議会議員一同

3月定例会

平成28年第1回定例会は、3月11日に開会し、17日まで7日間の審議を行った。

初日には奥名克美町長が行政報告と町提出案件の提案理由を述べた。

一般質問には5議員が防災、道路整備計画、介護、福祉、住宅開発、教育、環境エネルギー等について活発な議論を展開した。

議案審議では、介護保険条例等の改正、平成27年度各会計補正予算、平成28年度各会計予算など31議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決した。

請願2件については不採択とすることとなった。
また、甲佐町副町長・固定資産評価審査委員会委員・農業委員会委員・教育委員会委員の選任（任命）に全会一致で同意した。

可決された議案の主な内容は次のとおり。

条例関係

行政不服審査法の施行に伴い、関係条例の制定及び一部改正

空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、防災・防犯・衛生・景観等の対策を推進し、安心・安全な生活環境を保全することを目的とする条例の制定を、全会一致で可決した。

いずれの条例についても全会一致で可決した。

空家等対策の推進に関する条例の制定

介護保険制度に関する関係条例の整備

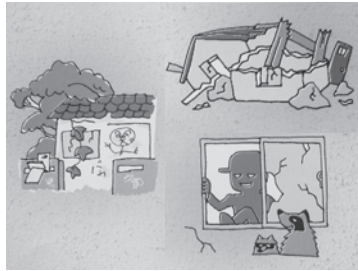
○甲佐町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

○甲佐町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護の方法に関する基準を定める条例の一部改正

行政不服審査法の施行に伴い、審査請求をすることができる期間を60日から3カ月に延長するとともに字句の統一を行った。

「行政手続条例」「情報公開条例」「個人情報保護条例」「固定資産評価審査委員会条例」についての一部改正。

また、「行政不服審査関係手数料条例」を新たに制定した。



一致で可決した。

総合保健福祉センターの設置、管理及び使用料に関する条例の一部改正

総合保健福祉センターの浴室改修及びシャワールームの設置に伴う一部改正で、賛成10反対1で可決した。

宮内地区社会教育センターの設置、管理および使用料に関する条例の一部改正

介護保険法の改正に伴い、これまで、厚生労働省令で定められていた基準を、各市町村の条例で定めることとなったことに伴う一部改正で、全会一致で可決した。

宮内地区社会教育センターを使用できる時間をこれまでの午後5時15分から午後10時までへの変更に伴う一部改正で全会一致で可決した。

その他案件

熊本市及び甲佐町における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結

圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上に係る政策の連携協約を全会一致で可決した。

公の施設の利用に関する協議

熊本市と甲佐町との間における図書資料の貸出しに関する協定を全会一致で可決した。

過疎地域自立促進計画を策定

「過疎地域自立促進特別措置法」に基づき、平成28年度から平成32年度までの5カ年間、交通通信、生活環境、産業の振興、子育て支援、若者の定住促進、教育の振興を柱とする新たな計画案を全会一致で可決した。

工事請負契約の変更

社会資本整備総合交付金事業町道上揚井戸江線（仮称）井戸江峡橋上部工事において、2913万7019円を増額し、3億5551万3019円とする契約変更を全会一致で可決した。

その他に「一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正」「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正」を全会一致で可決した。

予算関係

平成27年度甲佐町一般会計補正予算(第6号)

2億3123万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ59億4802万9千円とする補正を全会一致で可決した。

平成27年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

1424万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ20億9773万1千円とする補正を、全会一致で可決した。

平成27年度甲佐町介護保険特別会計補正予算(第2号)

1551万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ14億4353万5千円とする補正を、全会一致で可決した。

決した。

平成27年度甲佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

88万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億3819万7千円とする補正を、全会一致で可決した。

平成27年度甲佐町水道事業会計補正予算(第2号)

資本的収入を1214万2千円を減額し2億6830万9千円とし、資本的支出を1214万2千円を減額し3億3235万3千円とする補正を、全会一致で可決した。

平成28年度甲佐町一般会計予算

平成28年度一般会計予算の内容については、次のページをご覧ください。

平成28年度甲佐町国民健康保険特別会計予算

前年度より3491万1千円減の総額19億1925万2千円とする予算を、全会一致で可決した。

平成28年度甲佐町介護保険特別会計予算

前年度より4204万9千円増の総額14億3276万9千円とする予算を、全会一致で可決した。

平成28年度甲佐町後期高齢者医療特別会計予算

前年度より、632万4千円増の総額1億4363万7千円とする予算を全会一致で可決した。

平成28年度甲佐町水道事業会計予算

収益的収入及び支出の総額を1億5000万5千円とする予算を、全会一致で可決した。

人事関係

甲佐町副町長に師富 省三氏(再任)



もろどみ 師富省三氏

現副町長の師富省三氏(横田)が平成28年4月9日で任期満了となることから、引き続き副町長として選任することに全会一致で同意した。

甲佐町固定資産評価審査委員会委員に田上 菊夫氏(新任)



田上菊夫氏

現委員の本田裕子氏(有安)が平成28年3月23日に任期満了となることから、田上菊夫氏(坂谷)を選任することに全会一致で同意した。

甲佐町農業委員会委員の任命同意 14人

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い任命することに全会一致で同意した。

甲佐町教育委員会委員に井藤 光徳氏(新任)



井藤光徳氏

現委員の岩本正明氏(上早川)が平成28年3月23日に任期満了となることから、井藤光徳氏(上早川)を選任することに全会一致で同意した。

請願

TPP協定を国会で批准しないことを求める請願
※請願者
TPPなんさま撤回の会
代表者 鳥飼 香代子
※紹介議員 佐野 安春
※採決 賛成1
反対10で不採択

請願

「鮎緑の湯」廃止計画の撤回に関する請願
※請願者
甲佐町大字横田585番地2
和田 勝也 他578人
※紹介議員 佐野 安春
※採決 賛成1
反対10で不採択

平成28年度 一般会計予算 63億6,446万1千円を可決

(単位：万円)

(単位：万円)

歳入	28年度	27年度	前年度比
町税	85,077	82,869	102.6%
地方譲与税	5,500	5,700	96.5%
利子割交付金など	21,361	14,680	145.5%
地方交付税	210,000	205,000	102.4%
分担金及び交付金	10,462	11,100	94.3%
使用料及び手数料	3,760	3,756	100.1%
国庫支出金	115,536	105,347	109.7%
県支出金	54,936	66,667	82.4%
財産収入など	1,027	1,591	64.6%
繰入金	42,642	47,217	90.3%
繰越金	5,000	5,000	100.0%
諸収入	4,315	4,249	101.6%
町債	76,830	48,880	157.2%
計	636,446	602,056	105.7%

歳出	28年度	27年度	前年度比
議会費	8,045	8,863	90.8%
総務費	82,397	77,332	106.5%
民生費	179,832	188,067	95.6%
衛生費	62,135	60,584	102.6%
農林水産業費	30,023	30,022	100.0%
商工費	4,021	3,453	116.4%
土木費	93,793	89,103	105.2%
消防費	24,154	24,231	99.7%
教育費	66,365	43,625	152.1%
公債費	84,681	75,776	111.8%
予備費	1,000	1,000	100.0%
計	636,446	602,056	105.7%



改良が進む町道松ヶ崎妙見谷線

一般会計当初予算
平成28年度一般会計予算は、63億6,446万1千円で、前年度比105.7%で、3億4,390万3千円の増となった。
主な要因として、歳出面では、教育費や町の借入金の返済にかかる公債費、また道路建設費など、歳入面では、町税や地方交付税交付金の増額を見込めるので、主な事業としては、町総合保健福祉センターが実施する多世代・多機能型健康増進事業や県立甲佐高校の支援事業、龍野小学校の校舎増築事業などに係る予算を、賛成10反対1で可決した。

反対討論
佐野 安春 議員
平成28年度甲佐町一般会計予算については、ほとんどの所で賛成だが、一部、地域改善対策費の中の一部に同意できない点があるので反対する。

賛成討論
本田 新 議員
本予算で、執行部は国・県の補助金もしっかり取り入れて予算を計上していると思う。この予算をもって、我が町の町政がなされ町民の安心・安全が守られると思いい賛成する。

主 な 事 業

平成27年度 3月補正予算
平成28年度 当初予算



町道上揚井戸江線に架かる井戸江峡橋（仮称）は
県道三本松甲佐線の迂回路としての機能へ期待



御船インターへのアクセス道路として車道の2車
線化と歩道の整備が進む町道山出県道線



地域農業の担い手となる新規青年就農者を支援す
る青年就農支援交付金事業



甲佐町の農産物や特産品の販路拡大を図る「ろく
じ館」運営補助事業



授業終了後に行われている放課後児童健全育成事
業で子育て世代を支援



児童数の増加や校舎のバリアフリー化に取り組む
龍野小学校

そこが 知りたい

Q&A

3月定例会
質疑から

適地適作調査費

Q 農業振興費の中に適地適作の調査費が500万円予算化されているが。

A 地方創生の加速化交付金の事業を利用し、本町の農作物のブランド化を図るためモデル地区を選定し、土壌の調査等をする。

空き家店舗改修補助金

Q 空き家店舗改修補助金とは。

A 空き店舗を改修する場合に1店舗につき30万円を上限に5店舗の改修を見込んでいる。

特定空き家解体補助金

Q 特定空き家解体補助金とは。

A 空き家等対策審議会において、特定空き家と認定された所有者等に対し解体費の一部を助成することと考えている。解体工事の経費の8割で上限は80万円となっている。

水道料金の改定は

Q 平成30年度から赤字になっていると聞いているが、水道料金の改定は考えているか。

A 水道料金の設定は3年から5年間の財政収支見通しにより決定する。赤字が出ていない状況ではもちろん見直す予定はない。500万円以上の赤字が続いていく状況なら運営委員会で諮り検討していく。



27年度に完成した第4配水池

避難行動要支援者

Q どのような内容になっているか。

A 避難行動要支援者名簿管理システム保守点検委託料の内容は、災害対策基本法一部改正に伴い、町には避難行動要支援者名簿の作成、避難支援関係者への情報提供、個別支援計画の作成等が義務付けられている。本町の地域防災計画書に定められた、要介護高齢者や障害者など災害発生時に支援が必要とする在宅で生活する方を管理し、避難支援に結びつけることである。

ふるさと納税

Q ふるさと応援寄付金パンフレット作成委託料とは。

A プロジェクトチームをつくり、返礼品の見直しや数を増やすことや、ホームページ等で広報をするため返礼品のパンフレットの作成を検討している。



空き家状態となっている家屋

一般質問

大井手用水路の防災対策

町長 内水調査を基に強制排水ポンプ設置を 国土交通省へ要望する



西坂 和洋 議員

問 大井手用水路が過去及び昨年の豪雨などで被害はなかったか。
また、市街地などで道路浸水、そして床下、床上浸水などの発生はなかったか。

清水くらし安全推進室長

平成18年の床下浸水4件、平成19年に床上5件、床下114件発生している。昨年は報告は上がっていない。

問 昨年も橋桁に水があたり道路の浸水があり、玄関土間に水が入ってきたと聞が、大井手用水路の維持管理はどのようなになっているのか。



市街地を流れる大井手用水（緑町地内）

鳴瀬産業振興課長
管理主体である、甲佐町土地改良区で行っている。

問 現在、下横田にある大井手用水路と内田川の合流地点で大井手用水路がサイフォン工法になっている。そこに、砂利が

堆積しているがどのように考えているか。

奥名町長

まず、サイフォン箇所のは、毎年3月に土砂溜の中の土砂を撤去している。大井手用水路の冠水の解決策は平成23年度に内水調査を実施し、そ

の結果を受け、緑川への強制排水、つまりポンプ設置を国土交通省に要望している。

道路整備5カ年計画

問 平成26年12月、計画見直しをされているが、平成21年度計画の中で何路線完成したか。

志戸岡建設課長

14路線中完成しているのが4路線、5路線が現在工事進行中である。

問 現在、工事中の井戸江橋はキャンプ場まで数年かかることになる。完成予定、総工事費はどれだけ予定しているか。

志戸岡建設課長

九州電力が発電所工事をしているので、協議しながら、平成30年の完成を予定している。総工事費は、現在の予算で7億8300万円である。

問 町道小鹿線の落石防護柵の件であるが、小鹿区より要望も出していると聞がどのようなになっているか。

志戸岡建設課長

その件については、以前に県で法面工事をしているので、県の方をお願いしたいと考えている。

問 町道吉田県道線、こは今年度100メートルの着工が予定されているが完全終了はいつ頃なのか。

奥名町長

町道整備については、国の社会資本整備交付金、過疎債を活用し事業を行うが、以前は、当初要求どりの金額が充当されていた。しかし現在は、大体50%から55%の充当状況になっていて、現在工事中の道路も先延ばしになる。

一般質問

「あゆみの湯」 存続を求める請願が

町長 新しい視点から健康増進に繋げていく



佐野 安春 議員

問 「あゆみの湯」については存続を求める請願が出ています。579人の町内外の方々が署名をされている。「存続をしてほしい」という声は大きいものがあると考えます。町では最近「あゆみの湯利用に関する調査」をされ、町内108人、町外8人の方々が答えられている。意見として「生きがい・唯一の楽しみ・広いので伸び伸びできる・広々として気持ちいい」など率直に語られている。町の施設である「あゆみの湯」に対してのもので、本来であれば「あゆみの湯」があつて良かったと町としても思っているところだが、町は町民の「生きがいや

唯一の楽しみ」を無くそうとしている。町長は、この町民の気持ちをどう感じているのか。

奥名町長

お風呂については、健康増進の意味合いも含まれると思う。600人近い署名があつたことは、非常にこの浴室に対する関心度の高さをうかがい知ることが出来る。

今回の件について、大事なことは、ただ単に廃止をすることで終わりはなく、新しい視点から



鮎緑の湯

当施設を改修し、それを健康増進に繋げていくことを、ご理解頂きたい。

介護予防スタッフは
足りているか

問 介護予防サポーター養成など、総合保健福祉センターとして準備が大変かと思う。総合事業という大きな事業を展開する町のスタッフは足りているか。予定されている29年4月からの移行は大丈夫か。

そこで、今年度介護予防サポーター養成講座を開催し、30行政区86人のサポーターが誕生したが、1行政区1人のところもあり、養成講座の継続については、しばらくは町からの支援が必要になると思う。その際は包括職員だけでは足りないもので、当初予算で高齢者が自立的に取り組む「通いの場」への指導者を派遣するための委託料を、当初予算でと願っているところだ。



井上総合保健福祉センター所長 介護保険制度改正により、住民主体の一般介護予防事業を中心として、前期・後期高齢者を含め、幅広い高齢者が自立的に取り組む、「通いの場」の設置運営を推進していかなければならない。

そこで、今年度介護予防サポーター養成講座を開催し、30行政区86人のサポーターが誕生したが、1行政区1人のところもあり、養成講座の継続については、しばらくは町からの支援が必要になると思う。その際は包括職員だけでは足りないもので、当初予算で高齢者が自立的に取り組む「通いの場」への指導者を派遣するための委託料を、当初予算でと願っているところだ。

町職員の処遇改善について

問 県下自治体ラスパイルス指数、27年度、45自治体中43位、下から3番目と低い水準。因みに前年度は45位で県下最下位。27年4月1日現在の指数は92.0% になっている。他の参考になる指数は町長給与県下14位、副町長給与18位、議員報酬24位、一人当たりの町民所得36位となっている。町づくりに汗を流してもらっている職員なので、最下位に近い水準から相当の水準まで引上げできないか。

内山総務課長

ラスの引き上げについては、来年の4月1日付で昇格基準の見直しを行うことにしている。このことで改善が図られると思っている。



一般質問

内田川の氾濫をどうするか

町長 強制排水しかない



荒田 博 議員

住宅開発について

問 本町において住宅開発等の検討はしているか。

西坂企画課長

現在民間事業者が開発された団地が2団地あり全部で28区画あり、他にも数カ所の宅地開発の計画が情報として入っているが、町として宅地造成の考えはない。

問 28年度の当初予算に町営住宅の西寒野団地の解体費があるが跡地利用は。

西坂企画課長

町有地の活用は検討委員会での組織で今後利活用

について検討する。具体的にはまだ決まってい

特産品開発

問 甲佐独自の農作物のブランド化を推進できな

いか。平成30年から転作補助金もなくなると聞いている。営農組合の法人化の収益となるものを考えなくてはならないと思うが。

鳴瀬産業振興課長

産業振興の強化を目的に、6次産業化への取組として、「こうさんもん」認定制度の充実を図ることを目標にし、認定商品の生産力と販路の拡大を図ることを目的にしている。現在営農組合等の6法人が立ち上がり大豆の生産等に力を入れ交付金等を利用しながら経営されている。米の直接支払い交付金の廃止に伴いその代わりになる主力の作物の生産が必要になってくると考えている。

問 今度進出する企業の肥料等を利用し独自の付

加価値をつけた農作物を手掛けている所も県内で見受けられる。本町もモデル地域などを考えブランド米等を考えてはどうか。

奥名町長

進出する企業は、化粧品やサプリメントの製造を手掛けています。肥料等に使えるということであれば研究していきたい。

河川の氾濫について

問 内田川に架けられて

いる橋に昨年の大雨の時、橋に流木等がかかり川の水が溢れることがあったが対応は考えているか。

志戸岡建設課長

毎年のように大雨時には橋の際から越水はあるように覚えている。年に一回程度上流側の土砂を除去し、橋梁のガードレールの設置を行う程度



町村河川内田川に架かる橋梁（下横田地内）

奥名町長

しか対応はしていない。洪水が予想される時は封鎖するなり、大型土のうを置くなど河川管理者として何らかの対策をした。緑川が洪水時期に水位が上がった時に、そこに打ち出す竜野川、大井手用水や内田川を抜本的に解決するには強制排水しかないと考えている。ただ、簡単にできる事業ではないので国土交通省の理解が必要で毎年要望活動を行っている。

一般質問

太陽光設置による避難所への整備促進

環境衛生課長 環境負荷の小さい再生エネルギー
による避難所施設への導入を図る



宮本 修治 議員

問 平成27年度の避難所への避難状況はどうなっているか。

清水くらし安全推進室長

平成27年度中は2回避難所を開設した。1回目は、6月11日で土砂災害の警戒情報が発表された日に10カ所の避難所を開設し、総合保健福祉センター「鮎緑」に6世帯8人、農業研修センター「ろくじ館」に2世帯2人、町民センターに2世帯2人、合計10世帯12人となっている。2回目は8月24日から25日にかけての台風15号の接近に伴うもので5カ所の避難所を開設し、28世帯40人の避難状況となっている。

問 太陽光パネルの公共施設への設置状況と今後の予定、また、平成26年度、27年度における実績と設置費用の財源は。

橋本環境衛生課長

公共施設への設置状況は、甲佐小学校、龍野小学校、乙女小学校、白旗小学校、甲佐中学校、総合保健福祉センター、町民センター、白旗福祉ふれあいセンター、龍野福祉ふれあいセンター、農業研修センター、水道管理センターに太陽光パネルを設置している。平成26年度、27年度に設置した施設は総合保健福祉センター以外の施設で、1カ所当たりパネルと蓄電池を設置したところで、2500万円から3500万円の費用が掛かっている。

問 個人で付けるよりも高額な金額となっているが、全額補助金ということだが、補助の目的や対象となる施設の規定はあるのか。



太陽光パネルが設置された「ろくじ館」

橋本環境衛生課長

環境省の補助事業で、地震や台風等による大規模な災害に備えるとともに、環境負荷の小さい再生可能エネルギーの導入を目的としていることから、防災拠点、避難施設、ライフライン維持施設等災害時に機能を保持すべき公共施設に限られる。

学力向上対策

問 学力向上対策として、受験生の追跡調査はどのようなになっているか。

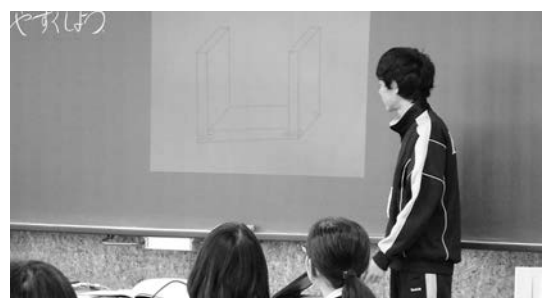
古閑学校教育課長

甲佐中学校の今年度の進路状況は、3年生89人の受験状況としては、私立の専願で合格した生徒11人、国立海上技術学校に合格した生徒2人、私立高校の前期試験に44人受験し27人が合格している。県立高校の後期試験に44人が受験しており、結果は出ていない。

問 今後の学力向上対策についてどう考えているか。

蔵田教育長

町内の小中学校の学力向上については、1時間1時間の授業の改善が最も重要であり、先生方の授業力をどう高めるかであると思っている。そのため、教育委員会による教員の授業力向上へ



ICT 機器（電子黒板）による授業

問 ICT機器の導入による効果と今後の配備予定はあるのか。

蔵田教育長

国の研究指定校やICT機器教育の研究指定校の結果を見ると、すべての指定校で学力が向上している。ICT機器の導入として、電子黒板を平成31年度までに全クラスに1台ずつ導入したい。

一般質問

「鮎緑の湯」廃止の経緯と今後の活用



宮川 安明 議員

町長 健康づくりや生活習慣病予防のための
多世代多機能型健康増進事業を実施

問 総合保健福祉センターの設置目的と今後想定される修繕費等について。

井上総合保健福祉センター所長

当センターは、町民の健康増進、疾病予防、保健衛生の向上及び福祉活動を推進し、高齢者の安らぎの場を提供する拠点として開設された。

運営に係る経費としては、人件費を除く平成24年から26年度までの平均赤字額が年間807万3千円程度あり、今後想定される修繕費についてもボイラー機械等の更新費用として、1000万円程度必要となる。

問 浴室廃止に伴う代替案などは検討したか。

また、公衆衛生上の浴室設置義務が法的に自治体に課せられているのか。

奥名町長

代替案は、執行部の中で3案を検討した。

1点目は、浴室を廃止し、個室（家庭用）の浴室を検討した。

公衆浴場法において、

公衆を入浴させる施設が対象となり、例え一人用の浴室であっても不特定多数の方が利用される場合は、公衆浴場法の適用を受ける。併せて入浴施設におけるレジオネラ症の発生防止のため、熊本県の衛生管理に関する条例の適用も受ける。そのため、利用者毎にお湯の入れ替え、清掃が必要となる。

2点目は、他町の浴場利用を検討した。

施設利用の際の送迎が必要で、運転手を雇用し公用車を利用しても、129万円ぐらいの経費が発生する。

3点目は、浴場を設置される方への支援を検討した。

1月のアンケート調査により自宅にお風呂のない方が12人という結果が出ている。浴室設置の場合、自宅の改修問題や自己負担の問題、あるいは80歳後半の高齢者の方が補助制度を活用されるのかという懸念も生じる。

代替案等もいろいろ検討したが、最終的にシャワー付きユニットの設置を考えたところである。

また、公衆衛生上浴室の設置義務は、法的にはない。

問 浴室改修に至った経緯は十分理解する。重要なことは、浴室を廃止したあと、鮎緑の施設を有効活用し、町民の健康保持、増進につなげ、国民健康保険運営にどう生かしていくのか。

奥名町長

国民健康保険については、特別調整交付金の活用を考えている。

この交付金は、国が示す指標により評価されるもので、影響を与える評価の指標としては、①特定健診、②特定保健指導の実施率、③メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の減少率、④糖尿病の重症化予防の取組の実施状況、⑤後発医薬品（ジェネリック）の使用促進に関する取組の実施状況の項目があり、特にメタボリックシンドロームとメタボリック予備軍の解消に向けては食

事指導と運動の実施は欠かすことのできない項目であり、今後トレーニングルームを利用していただくことで、評価指標達成に繋がると考える。

また、これまで実施したモデル事業を平成28年度も多世代多機能型健康増進事業として取り組んでいく。

その他、「自主防災組織」・「小中学校の教育環境」・「職員の資質向上」



健康増進モデル事業



第7回子ども議会が平成28年2月18日に開催され、15人の中学生が10代の目線で執行部へまちづくりについての質問を行った。

町の活性化について

ニラ侍で甲佐町をPR



西坂鴻之介
(3年3組)

問 甲佐町のPRキャラクター「ニラ侍」を目にすることがありません。甲佐町の人みんなが知っているものにしてほしいと思います。また、町外での行事などにも参加し、もっと活動して甲佐町をアピールすることはできないでしょうか。

鳴瀬産業振興課長

「ニラ侍」は平成26年度に「こうさんもん」の認定を受けたもので、認定後の活用実績としては、商工会で観光マップやシールの製作、町内企業の広告への利用や甲佐小学校職員や役員職員組合のTシャツへのプリント等利用され、知名度アップが図られているところです。

着ぐるみ等は現在ありませんが、熊本県内にも「くまモン」を始めとして、数多くのキャラクターが作られ、県内外のイベント等へ参加され、

県や町のイメージアップに繋がっていると感じております。

しかしながら、課題もあり、キャラクター1体を作るのに50万円〜100万円の費用がかかるということ。また、製作後の活用や管理運用についても検討しておく必要があります。

大型ショッピングセンター誘致



山下 日向
(2年2組)

問 甲佐町にもイオンモールのようなショッピングセンターがあれば、町の中で遊ぶことができるようになります。町の活性化にも繋がると思いますが、今後建設予定はありますか。

西坂企画課長

大型ショッピングセンターの建設予定はありませんが、多くの企業の進出が行われますように、町では交通インフラの整備や人口増対策に取り組んでいます。

また、市街地には大井手用水のような他の地域にはない資源や、「蚤の市」のような活性化に向けた取り組みも行われておりますので、住民の方々と商店街の皆さんと協議しながら町の魅力向上や活気あふれるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

スポーツ施設整備と町民の健康づくり



高崎 蓮斗
(2年2組)

問 大きなスポーツ施設を建て、ジムや運動公園などを併設し、子どもからお年寄りまで体を動かせるような施設をつくることで、より健康なからだ作りを行うことができると思います。今後の建設予定はありますか。

奥名町長

総合保健福祉センター「鮎緑」に筋トレ機器やエアロバイクなどのトレーニング機器を導入し、子どもから高齢者まで町民皆さんの健康づくりや生活習慣病予防に繋げてもらう事業を行っています。

屋外での取組みとしては、安津橋上流の緑川左岸に計画しております総合運動公園が完成すれば目的に応じてスポーツが楽しめますし、その他、家族連れの方や子ども達だけでも運動や遊びが楽しめる広場が確保されると思います。

ジムや運動公園が併設した施設の計画はありませんが、それぞれの用途に合わせた施設の計画はありますので、それらの施設で健康づくりに取り組んでもらいたいと思います。

子どもが遊べる場所や施設の設置



坂田 靖治
(2年1組)

問 甲佐町には公園が少なく、子どもたちが遊ぶ場所があまりありません。そのため、甲佐中の生徒も、休みの日は町外へ出かけたり、自宅や友達の家で過ごす生徒が多くいます。甲佐町に公園を増やし、子どもたちが遊べる場所や施設を増やしていく予定はありますか。

師富副町長

現在、安津橋上流の緑川左岸に総合運動公園の整備計画があります。

整備内容としては、サッカー場、テニスコート、野球・ソフトボール場、駐車場、また、夜間も利用できるようにナイター照明の設置も検討されています。

多目的に利用できるサッカーコートは、天然芝で整備してはどうかと意見がありまして、そうなれば子どもから大人まで誰でも遊ばれ、また、いろいろなイベント開催時にも利用されるようなスペースになると思います。

また、堤防の法面や河川の護岸等については出来る限り花などの植栽や、河川と容易に親しまれるように緩い傾斜とした護岸、親水階段などを設置するなど検討されています。

美化活動

花を使ったまちづくり



岡本 愛
(3年1組)

問 甲佐町は「花と緑とあゆの町」といいますが、花が少ないように感じます。きれいな花を見ることが、町の人たちの心も和み、景観も良くなると思います。今後、町内の道路沿いに花を植える活動を行い明るい町づくりをするような計画はありますか。

鳴瀬産業振興課長

花の町としてのイメージアップや集客力の強化を目的に、各集落へ花苗の配布を行っております。

その他として、津志田河川自然公園(乙女河原)へ、ひまわりと菜の花の植栽を平成26年度から実施していることや、遊休農地の解消策として、景観作物であるひまわりの作付けを、平成25年度から実施しているところ です。

今後は、町のイベント等に合わせ沿道にきれいな花を植えるなど、「花の町」を強調できるよう努めるとともに、花のある明るいまちづくりに取り組んで行きたいと考えています。

地域との交流

高齢者との交流会開催



湯浅幸之介
(2年2組)

問 生徒の中には祖父母と同居していない人が増えてきています。そこで、学期に1回でも中学校で高齢者の方と交流できるような時間があればいいなと考えました。地域の方とも知り合いになり、防犯や災害時にも交流していることが活かされてくると思います。高齢者の方と交流できるような機会をつくってもらうことはできませんか。

古閑学校教育課長

現在中学校では、体育大会、文化発表会等の各行事や学校へ行こうデー等、それぞれの行事の際に防災無線や回覧等で地域の方々に周知を行い、参加いただいているところです。

しかし、高齢者の方々に学校へ来ていただくというのは負担が大きいと思いますので、生徒の皆さんが積極的に地域に出て行って交流を図っていただきたい、質問にありますように、防犯や災害時に活かすという観点からも、生徒の皆さんが積極的に各地域での行事や活動に参加していただきたいと思います。

複数の地域で行うイベント開催



久佐賀翔吾
(2年1組)

問 以前に比べると近所の方や、地域の方との関わりが少なくなっています。だから、地域ごとの交流会やイベントを開催してはどうですか。また、一つの地区だけで行うのではなく、複数の地域で協力して行うイベントを行うのはいかがですか。例えば町民大運動会などがあると思います。

上田社会教育課長

各地域で名称は異なりますが、本年度5月に乙女で、9・10月に宮内、甲佐、竜野、白旗4地区で運動会や体力づくり大会などが開催され、スポーツを通じての交流が開催されました。

更に、地区によってはグラウンドゴルフやビーチボールバレーなどの軽スポーツ大会も開催されているところでもあります。

また、教育委員会では10月に各地区対抗の「体育の日球技大会」を開催し体力づくりと地域の親睦に努めているところです。

提案の「町民大運動会」ですが、本町でも以前開催をしたところですが、各地区での選手集めに苦慮され、現在の形に変わった所です。

街路灯設置

整備状況と今後の計画

上村 蒼樹
(2年1組)

問 私たち甲佐中学校の生徒は、約9割近くの生徒が、自転車で学校に通学しています。部活動に入っている生徒も約8割の生徒が部活動で頑張っています。

今の時期は、暗くなるのが早く、街灯が少なく、帰宅するときにとても危険を感じることがあります。現在、どの付近に設置するような計画があるのでしょうか。まだ、計画がなければ、できるだけ早く設置の方向で計画をして頂きたいと思っています。

清水くらし安全推進室長

現在、設置中の場所は、皆さんの通学路であります白旗小学校前からJA上益城前までの約600mの間であります。

次に、今後の設置計画についてですが、現在、「防犯灯整備計画5カ年計画」を策定中でありまして、この計画は、通学路に優先的に設置する計画であります。

皆さんが安心して通学が出来ますように、今後とも、更なる整備促進に努めてまいりたいと思っています。

交通関係

横断歩道・押しボタン式信号の設置

澤田 太志
(3年3組)

問 龍野小の下など、通学路に横断歩道が少ないように感じます。地域の方や学校でも登校指導をして頂いています。横断歩道を増やして頂けると更に安全な登下校ができるようになると思います。また、押しボタン式の信号を増やしてもらうことができますか。

清水くらし安全推進室長

龍野小学校区内の横断歩道の設置につきましては、昨年の6月に2カ所、7月に1カ所の、計3カ所の設置要望がなされており、既に御船警察署に要望を行っているところであります。

また、押しボタン式信号機の設置につきましては、昨年の2月に岩下1区に設置しておりますが、現在、設置要望を龍野小学校区ではありませんが、3カ所を警察に行っております。

信号機等の交通規制の実施には、大きな予算を伴うものであり、大変厳しい現状にあると聞いておりますが、早期設置に向け、警察当局に、今後も引き続き要望を行ってまいりたいと考えております。

定期的な除草と歩道の補修

宮本 紅葉
(2年1組)

問 通学路に生えている草が伸びていて、避けるために車道側に広がらなくてはいけません。定期的に町で草刈りをお願いすることはできませんか。また、歩道の凹凸が多く、自転車で通学する時に危ないので、車道だけでなく、歩道の舗装もお願いすることはできませんか。

志戸岡建設課長

国道・県道は管理者である県が年2回の草刈りをしていますが、時期によっては草が伸びて通学に支障を来すときは状況も見えて、町から県に対して追加の草刈りをお願いをしています。町道についての草刈りは定期的に行いながら草の伸び方の状況を見て年間2回から4回の草刈りを行っています。今後も通学に支障が無いよう注意して観察をしていきたいと思っています。

また、歩道の凹凸など、県道、町道問わず危険な箇所については調査しまして随時対応していきます。みなさんが通学時に危険な箇所を見つけた時は学校や役場の建設課までご連絡をいただきますと大変助かります。

田口橋や通学路への歩道整備

川崎 愛莉
(1年1組)

問 登下校をするときに歩道がなく、道が狭い場所があります。例えば田口橋などは歩道がないので、通る時に車と接触しそうで怖いことがあるとの声を聞きます。田口橋や通学路に歩道をつけることはできませんか。

奥名町長

田口橋は、歩行者や自転車通学者の方が、車と離合の際、非常に危険な状況であり、これまでの要望活動がみのり、田口橋架け替え工事が行われることが決まり、現在、田口橋の幅員を広くする詳細設計が行われ、平成28年度からは架け替え工事に着工される計画になっております。

また、通学路への歩道整備については、役場前から高校前までの区間について、詳細設計が実施され歩道が整備されることになっております。

また、町道においても甲佐町道路整備計画の中で、通学路など、歩行者、自転車が多い道路については歩道の整備を図ることとしていますので、必要な路線の整備を計画的に図っていききたいと思います。

緊急車両の通行と道路整備



松本 妙子
(3年2組)

問 道が狭く、緊急事態のときに、救急車が中まで入ることができずに、担架を使って運び出し、それから救急車に乗せなければいけないところがあります。人の命を守るためにも、緊急車両が通れるように道を広くしてもらえませんか。

志戸岡建設課長

大町周辺は住宅も多く、道路が狭いため緊急車両が通行できない道路があり、そのような道路を広くすることは道路整備の効果は非常に大きいと思いますが、甲佐町全体を見たときに他の地域でも同じような道路がたくさんありますので、町では整備する道路について「どこに・いつごろ整備するか」を決めるため、路線の評価を行い「道路整備5年計画」を策定しています。

大町周辺の道路については、現在の道路整備5年計画に国道443号線から大町集落までの町道仁田子古川線も含まれており、今年度、測量設計を行っている状況です。

道路の整備については緊急自動車等の通行の出来ないなど道路幅が狭い道路で緊急性を有する路線や事業効果の大きい路線から計画的に整備を進めています。

電力自由化

太陽光発電施設整備による 自主財源の確保



緒方 丈二
(3年1組)

問 福岡県みやま市では市で発電を行い、売電するシステムがつくられているようです。甲佐町でも同じように町で太陽光発電を設置し、売電していくようなシステムをつくることはできませんか。そうすることで、更に町の資金等も増え、色々な設備を整えることができるのではないかと考えます。

橋本環境衛生課長

自治体が、電力会社となり、地域に電力を供給するという取り組みは、「自治体新電力」などと呼ばれており、地域に存在する太陽光などの再生資源を活用することによる電気料金の低減や低炭素社会の実現のみならず、雇用の創出や行政サービスの充実など、さまざまなメリットがあります。

みやま市のような先進事例に学びながら、「自治体新電力」だけでなく、町が豊かになるような、町民がさらに幸福になるようなことを常に研究・検討していきたいと思っています。

学校の設備

業者委託による窓の清掃は できないか



石原 桜
(2年1組)

問 甲佐中学校は校舎等が新しくなり、デザインもとてもきれいなものになっています。

この校舎をきれいに保つように掃除を頑張っています。しかし、中庭などの窓で、2・3階は危険なためなかなかきれいにすることができません。

業者に委託して窓の清掃をお願いすることはできませんか。

古閑学校教育課長

中庭の部分のガラス窓については、1階の部分は内側、外側を拭くことができますが、2階、3階の外側の部分は危険を伴うような状況です。

この、2階・3階の外側等、清掃に危険を伴う部分、困難な部分については、今後、専門業者による清掃を検討していきたいと思っています。

生徒の皆さんは、今後とも、自分たちができる部分については清掃にも頑張っていたら、新しくなった校舎が一層きれいに、建物や備品についても大事に使っていただけるように取り組んでいきたいと思っています。

大型テレビ設置による教育 環境の充実



宮本 安寿
(1年2組)

問 甲佐中学校の授業の中でもパワーポイントや動画を使って授業をされる先生がいます。動画で見ると理解しやすく、もっとそんな授業が増えるといいと思っています。しかし、教室にテレビがなく、各階に1台ずつしかありません。テレビのサイズも一番後ろの人からはあまりはつきりと見えないので、大型テレビを増やしてもらうことはできませんか。

蔵田教育長

生徒の皆さんが学校で学習する際に、視聴覚機器やICT機器で学習する内容を見たり実物の画像や動画などで確認することは、授業が分かり易くなったり学習の意欲を引き出したと言われています。

このようなことから、甲佐町では学校の授業で視聴覚機器やICT機器を活用した授業をもっと充実させるよう、先生方の研修や各学校へのICT機器等の計画的な導入を進めていこうと考えています。

※議長を務めていただきました
お二人は一般質問を行って
ませんので、感想文（原文の
まま）を掲載いたします。

議長



野仲 希望
(2年1組)

私は、議長をしました。議場に入った時すでに大人の方がたくさんいらしたので、少し緊張しました。その後、子ども議会が始まりました。私は議長だったので「はい」と議長の席につきました。

議会を進行するうえで注意したことは、ゆっくり聞き取りやすく言うことと、はっきりと言う事です。私は、話すのが早かったり、滑舌が悪かったりするので、とても意識して取り組みました。ゆっくり、はっきりと言えたのでよかったです。前半だけでしたが、しっかり議長としての役割を果たすことができました。今回の体験をこれからいかしていきたいです。

甲佐町をよりよくするために頑張っていきたいです。

副議長



山本瑠梨夏
(2年2組)

私は今回の子ども議会が2回目の参加でした。昨年は、発言者としての参加でしたが、今回は副議長だったのでとても緊張しました。

後半から私は議長として司会をしていました。議長はタイミングに気を付けて「議長」と手を挙げられた人をあてる役でした。発言者が終わって議席に戻って次の言葉を言うタイミングが難しかったです。発言者や答弁者という感じで進めていかなくはならなかったのもとても緊張しました。

私は議会の方の後ろに座って前半見ていたので、執行部の方がすばやく答えていて、とてもすごいなと思いました。

今年は去年より緊張したけど、副議長として司会をしてとてもいい経験ができたのでよかったです。来年も参加できるのなら参加したいです。

第2回(6月) 定例会

次回定例会は、6月10日開会の予定です。

おめでとうございます

中村議員が 永年勤続表彰受賞

3月定例会の開会日に、熊本県町村議長会の永年勤続表彰状の伝達が行われた。

町村議会議員として23年以上在職し功労のあった方として、中村幸男議員が表彰を受けられた。



編

集

後

記

今回の清流157号は、2月に行われました甲佐中学生による子ども議会を掲載いたしました。道路問題を始め環境、教育あるいは町の振興策など、最後まで緊迫した討論が行われました。

また、3月議会定例会におきましては、平成28年度予算が可決され、新たな施策が4月からスタートしました。町民の皆様の声を力として、今後も町民の皆様の負託にこたえられるような議会に努めてまいります。

今回の熊本地震により被災されました皆様へお見舞い申し上げます。また、広報の発行が遅れましたことをお詫びいたします。
(宮本)

議会広報編集特別委員会

委員長 荒田 博

副委員長 宮本 修治

委員 福田 謙二

委員 佐野 安春

委員 山内 亮一